

【県政経営幹事会議 質疑応答概要】

Q) 男性職員の育児、家事の「参画」と「参加」の使い分けについて、再度説明をお願いします。

A) 「参画」は外部から手伝うという意味が強いが、「参加」は主体的に行うという意味がある。国も、今の法律の見直しの中で「参加」という言葉を使っている。

Q) 資料02_02_改定案（概要版）の現状と課題には「参画」とあるが、現状を示しているのに、「参画」を使っているということか。

A) 現状というところで「参画」を使用している。

Q) 「資料02_01_特定事業主行動計画の改定案について」の2ページの数値目標の(1)②「将来、現在の担当職務からレベルアップした仕事にチャレンジしたいと考える割合」ところについては、専門的な分野の職員は、当該分野を極めるということもあり、全ての職員に別の仕事を得られるようにとられないか。「資料⑥ ワーク・ライフ・バランスの実現ができていると考える職員の割合」のところ、実現の指標は、どのように判断するのか。家事参加の促進については、何か取組をするのか。具体策はあるのか。例えば、料理が作れない人に料理教室をすとか。

A) レベルアップした仕事というのは、現状の職を離れてという意味だけではなく、専門分野において極めるものも含まれる。次年度、アンケートを行い把握することとしているので、質問の仕方については工夫が必要と考えている。ワーク・ライフ・バランスについてもアンケートで聞いていくしかないと考えているが、職員個々の仕事と生活の調和の考え方によると思う。家事参加については、具体的な策が今あるわけではないが、男女共同参画の講座への参加推進や研修における講話などで意識啓発を進めたい。

Q) 「資料02_01_特定事業主行動計画の改定案について」の「(2) 男性職員の主体的な家事参加の促進 ⑤ 男性職員による育児・家事関連時間」について、150分とあるが、何日あたりの数字か。

A) 1日当たりの時間であるが、1週間の総時間を7日で割って算出するもの。